

中経連

4

2020 April

Vol.346

未来につなぐ
地域の文化

古川祭



HIDA FURUKAWA

千字
万感

国立大学法人信州大学
学長
濱田 州博

特集

がんばるChubu まちづくり編
大きく動きはじめた
栄の再開発に対する期待

- ピッチ&フォーラム『モビリティの未来』
- Garage Nagoya Topics
- 第16回中央日本交流・連携サミット
- 東海地域経済懇談会

CONTENTS

1 千字万感

交通インフラの重要性を再認識

国立大学法人信州大学 学長 濱田 州博

2 ピッチ&フォーラム『モビリティの未来』

4 Garage Nagoya Topics

7 第16回中央日本交流・連携サミット

8 東海地域経済懇談会

10 委員会活動

12 中経連ダイジェスト



ピッチ&フォーラム『モビリティの未来』(P2~3)

14 がんばるChubu まちづくり編

大きく動きはじめた

栄の再開発に対する期待



18 新入会員紹介

- 特定非営利活動法人 国連UNHCR協会 (国連難民高等弁務官事務所・日本委員会)
- 株式会社ジー・テイスト ●株式会社電算システム

22 中部圏主要経済指標

表紙 | 未来につなぐ地域の文化

古川祭 (岐阜県飛騨市古川町、写真提供: 飛騨市)

全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとして「ユネスコ無形文化遺産」に登録。全国に名を馳せる古川祭は、町内にある気多若宮神社の例祭で国の重要無形民俗文化財にも指定されている伝統神事です。古川祭は、神社での神事、古式ゆかしい「御神輿行列」が中心となって、“動”の「起し太鼓」と“静”の「屋台行列」が二大祭事として加わり、三つの行事群により4月19日・20日の2日間にわたって盛大な時代絵巻を繰り広げます。

参照: 飛騨市公式観光サイト 飛騨の旅